MAK-562　BRK3　2005年3月1日発行

トステム株式会社

リビング建材
ファミリーライン モダン/クラシック

室内ドア　取付け説明書

■施工される方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

⚠注　意…取付けを誤った場合に、使用者が中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

⚠注　意

●本体を吊込んだ後、本体側上丁番の軸が下がっていることを確認してください。軸が下がっていないと、本体脱落の原因となります。

●丁番固定ねじの締め忘れ・緩みなどは、本体脱落の原因になります。調整後本体・枠への固定ねじ及び丁番本体の止めねじが必ずしまっていることを確認してください。

■施工上のお願い

●枠取付けの際は、水準器・下げ振りなどで水平・垂直を確認してください。

●造作材・建具枠を取付ける時は、必ず接着剤（現場手配）を併用してください。かい木を使用する場合は、かい木の両面に接着剤（現場手配）を塗布してください。

●現場で使う接着剤は、「F★★★★」又はノンホルムタイプを使用してください。

●本製品のねじ締付け時には、クラッチ付きドライバーを使用してください。締付けトルクが強すぎると、ねじが空転したり、ねじの頭がとんだり、つぶれたりする場合があります。

●本製品の組立て・施工時には、同梱の指定ねじを使用してください。他のねじを使用すると、部品・部材の脱落や、枠の垂下がり・ゆがみなどの原因となります。（本説明書内で「現場手配」と記されている場合は除きます。）

●造作材・建具枠の下地材には、必ず乾燥材(含水率20%以下)を使用し、湿潤材は使用しないでください。

●壁内の通気が悪く、内部結露が発生するおそれがある場合は、防水処理をしてから施工してください。

●枠の組立て後、ねじれ・引張りなど無理な力を加えないでください。破損する原因になります。

●丁番は指定のねじで締付け、ガタツキのないように固定してください。調整後ガタツキがないことを確認してください。

●建具枠と柱・間柱・まぐさとの間には必ずすき間をつくって納めてください。

●造作材・建具枠と柱・間柱・まぐさの間にはかい木を入れてください。

●かい木には合板などの乾燥材を使用し、湿潤材は使用しないでください。

●造作材・建具枠をコンクリートやモルタル（床面）に直付けしないでください。やむを得ず直付けする場合は、造作材・建具枠木口と床面の間に、必ず防水処理をしてください。

●沓ずり部の納め方に応じて縦枠を切断してください。

●ドアストッパーを壁に取付ける場合は、補強材が入っていることを確認してください。

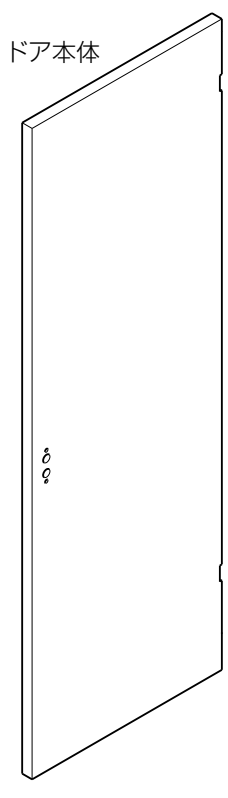
※建築工事中は、ドア本体を養生・保全のため取外しておき、施工完了後に吊込むことをお勧めします。

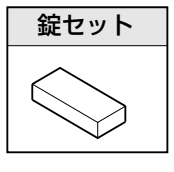
■縦枠の切断

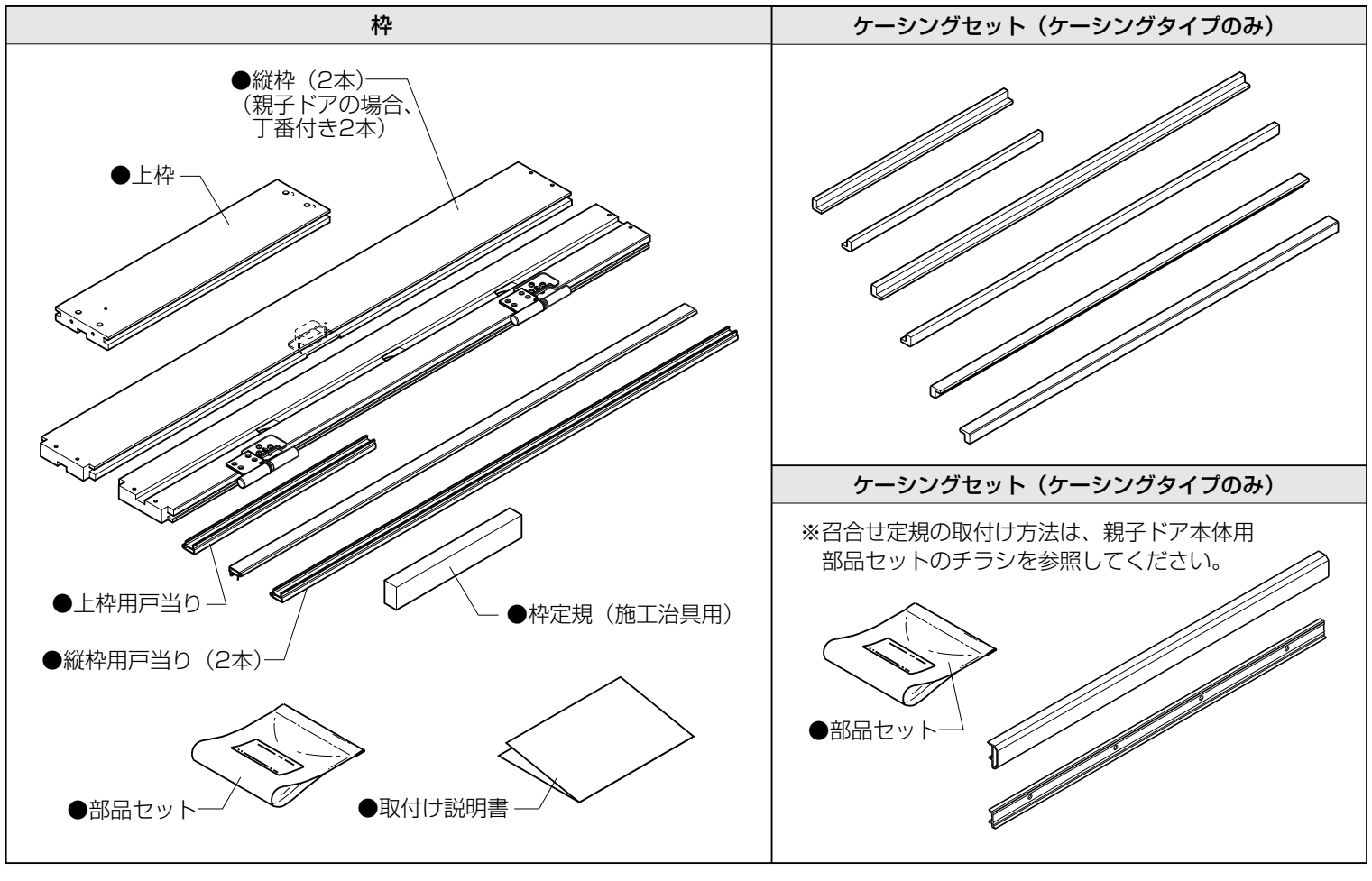
平薄沓ずり	切断不要
埋込沓ずり	切断（12mm）
沓ずりなし	

■部品・部材の明細

〔標準ドア・トイレドア・親子ドアの場合〕







■枠セット明細

	標準ドア	トイレドア	親子ドア
縦　枠	2	2	2
上　枠	1	1	1
戸当り	縦2・上1	縦2・上1	縦2・上1
枠定規	1	1	1

■ケーシングセット明細

上用ケーシング	2
縦用ケーシング	4

■本体丁番ねじセット（枠に同梱、丁番にテープ止め）

本体取付けねじ（皿タッピンねじφ4×20）	8本

■錠セット

ハンドルセット	1組
台座セット	1組
ハンドル固定ねじ（φ4×16）	1本

■部品セット

標準ドア・トイレドア用

組立て用皿小ねじM4×50	4本
上枠・縦枠取付け用DNビス（皿木ねじφ3.8×50）	※13本

※予備用4本含む

親子ドア枠用

組立て用皿小ねじM4×50	4本
上枠・縦枠取付け用DNビス（皿木ねじφ3.8×50）	※14本
フランス落とし受け	1個
フランス落とし受け取付け用（皿木ねじφ3.5×13）	2本

※予備用4本含む
●戸当りストッパーセットは別売りです。

親子ドア本体用

ピース　L／R	各1個
召合せ定規取付けねじ（トラスタッピンねじφ4×16）	14本
召合せ定規取付けチラシ	1個

■取付け範囲（単位：mm）

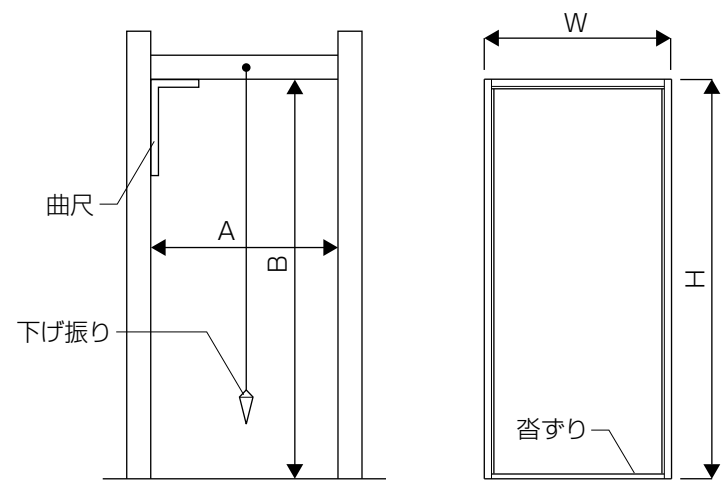
	ケーシングタイプ		ノンケーシングタイプ				
	薄壁用	厚壁用	NC90	NC115	NC156	NC171	NC180
対象壁厚	111～141	142～170	50～75	76～100	116～130	131～145	146～160

■開口部の作り方

※開口部の水平・垂直を正しく出してください。

開口寸法A	製品寸法W＋10mm
開口寸法B	製品寸法H＋5mm

●開口寸法　　●製品寸法

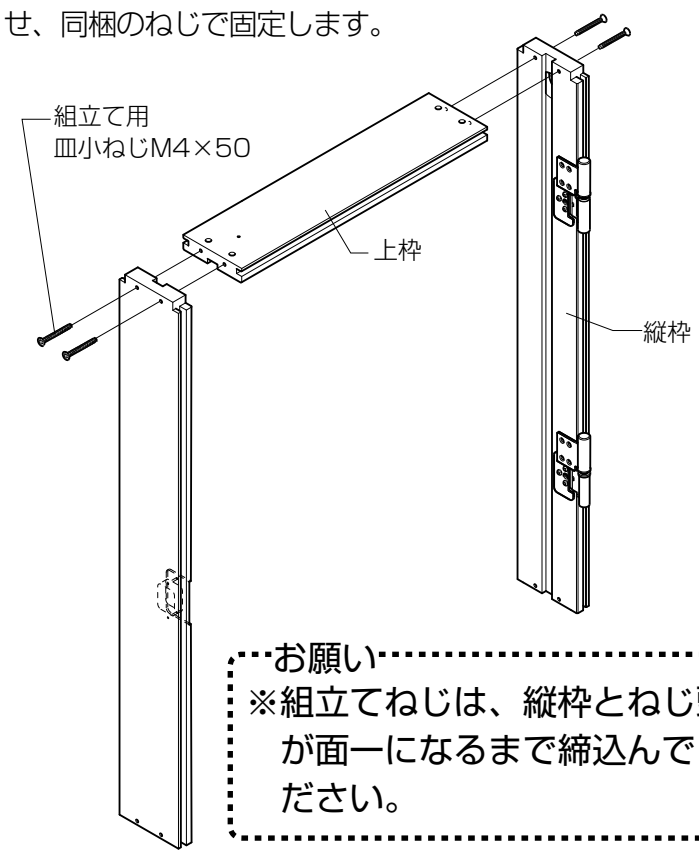


■取付け順序

1 枠の組立て

〔沓ずりを取付ける場合、及び縦枠を切断する場合〕

●下図のように各部材を組合わせ、同梱のねじで固定します。

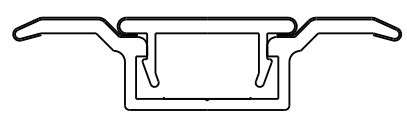


お願い
※組立てねじは、縦枠とねじ頭が面一になるまで締込んでください。

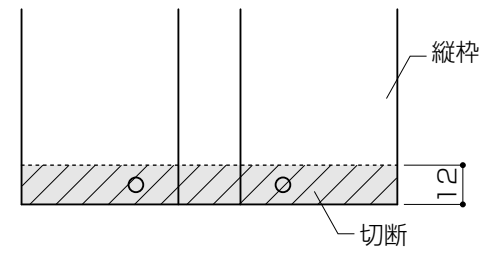
〔床先張り（枠後付け）の場合〕

※埋込沓ずりセット(別売り)を使用してください。

〔埋込沓ずり〕
●埋込沓ずり

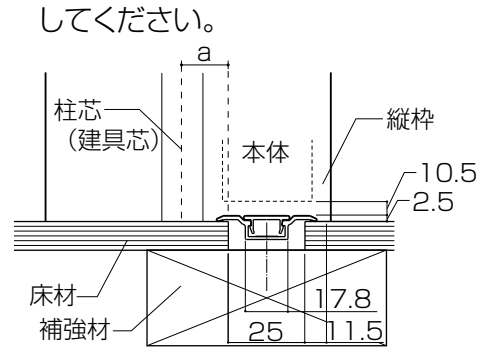


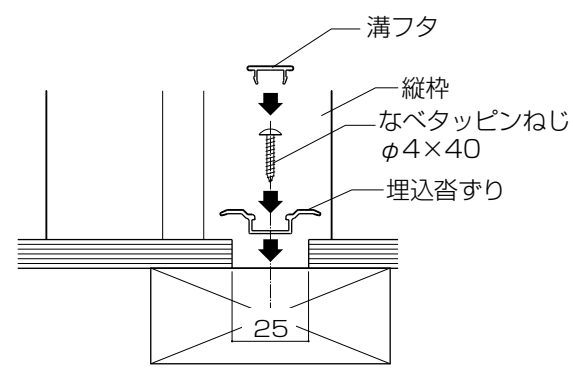
※縦枠（斜線部）を切断してください。



①補強材を必ず入れ、右図の位置に25mmあけて床材を張ります。
※躯体に縦枠を仮止めして位置出ししてください。

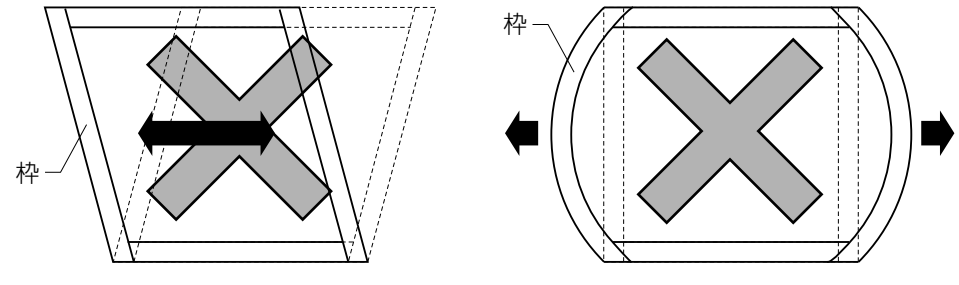
②埋込沓ずりを、戸当りに接する位置にねじ止めし、溝フタをはめ込みます。





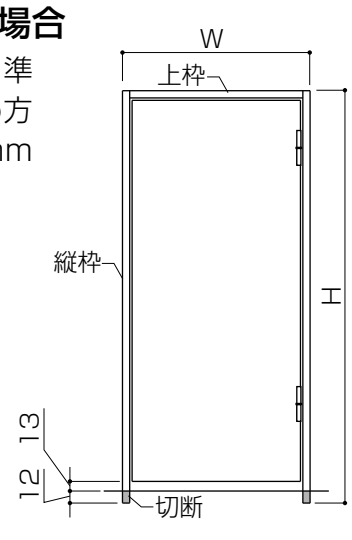
枠機種	NC90	NC115	NC156	NC171	NC180	C付115（薄壁）	C付142（厚壁）
a寸法	8	20.5	41	48.5	53	20.5	34

お願い
※ガイド穴にゴミなどが入らないようにしてください。
※枠組立て後、揺らす・引張るなどの無理な力を加えないでください。破損の原因になります。
※ねじは、たたき込まないようにしてください。保持力低下などの原因となります。



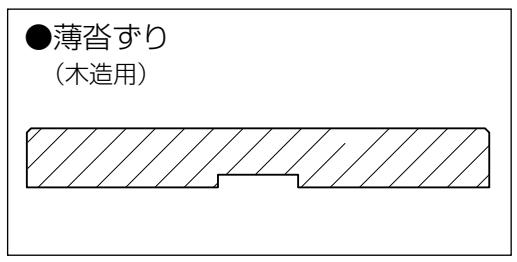
■沓ずりを使用しない場合

●ドア下端のチリを標準13mmとし、床部の納め方に合わせて縦枠を（12mmまで）切詰めます。



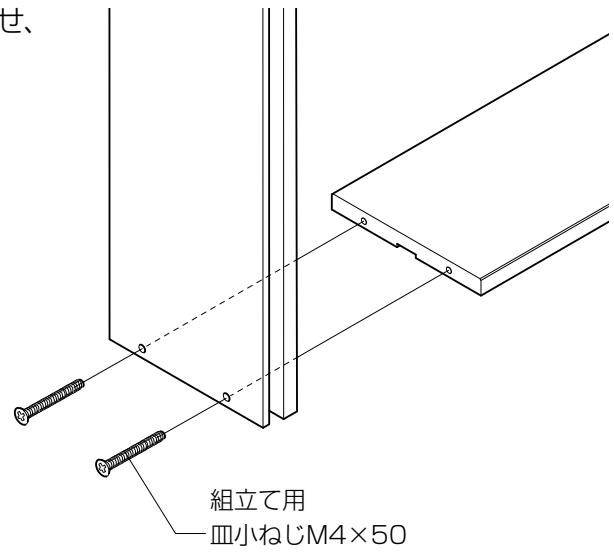
〔床後張り（枠先付け）の場合〕

※薄沓ずりセット(別売り)を
使用してください。



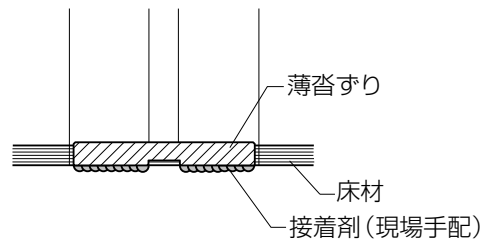
■標準・親子ドア・トイレドアの場合

●下図のように各部材を組合せ、
同梱のねじで固定します。

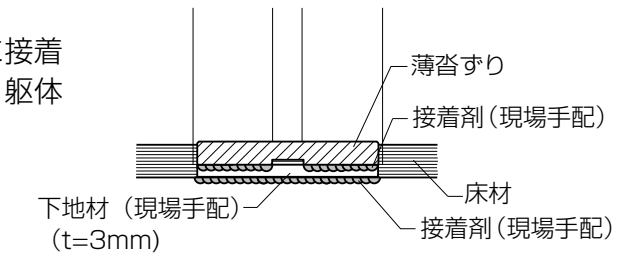


■躯体への取付け方

●床材厚さ12mm
※必ず薄沓ずりに接着剤（現場手配）を付け、躯体に固定してください。

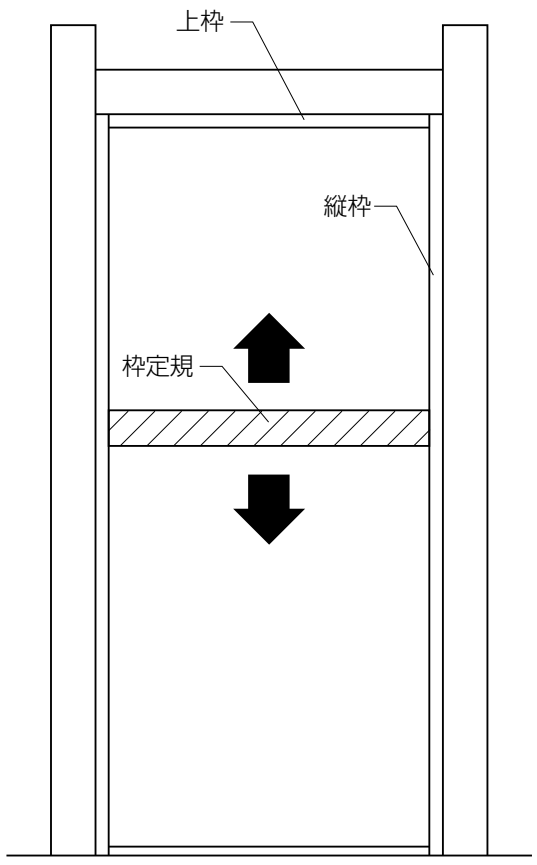


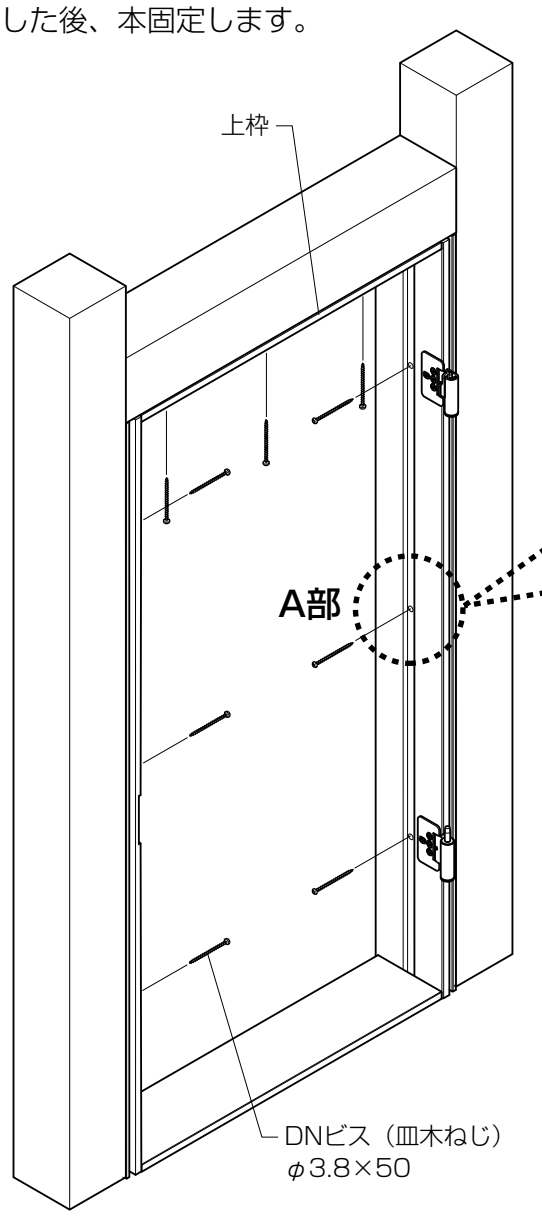
●床材厚さ15mm
※必ず薄沓ずりと下地材に接着剤（現場手配）を付け、躯体に固定してください。



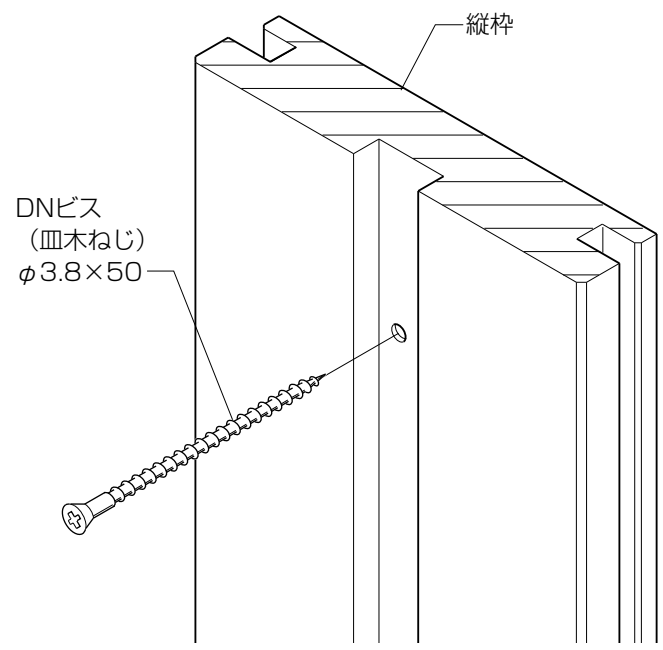
2 枠の取付け

①枠を開口部に固定します。
※床先張り（枠後付け）の場合は、上枠・縦枠のみ固定します。
②枠定規ですき間が生じていないことを確認した後、本固定します。



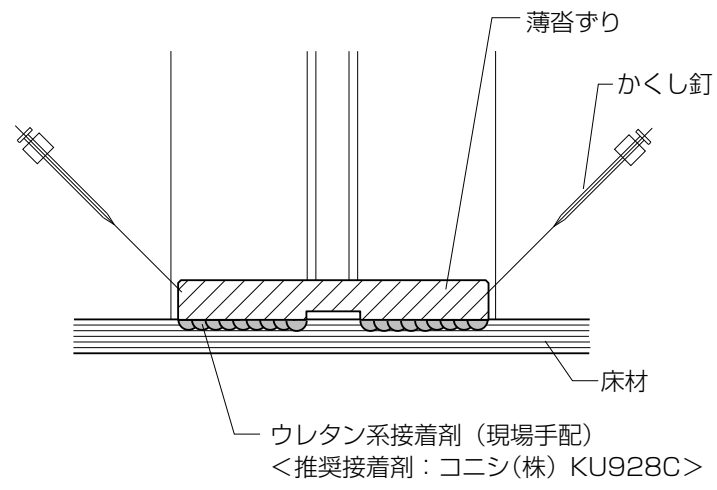


〔A部詳細図〕



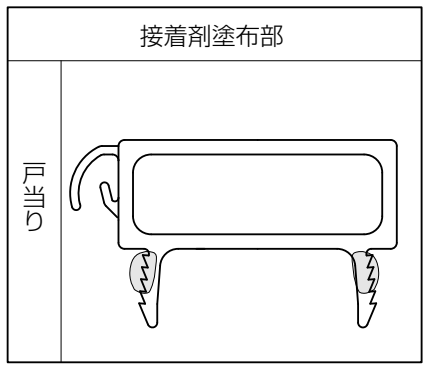
〔床後張り（枠先付け）の場合〕

●薄沓ずりは接着剤（現場手配）を塗布し、かくし釘等で
固定します。

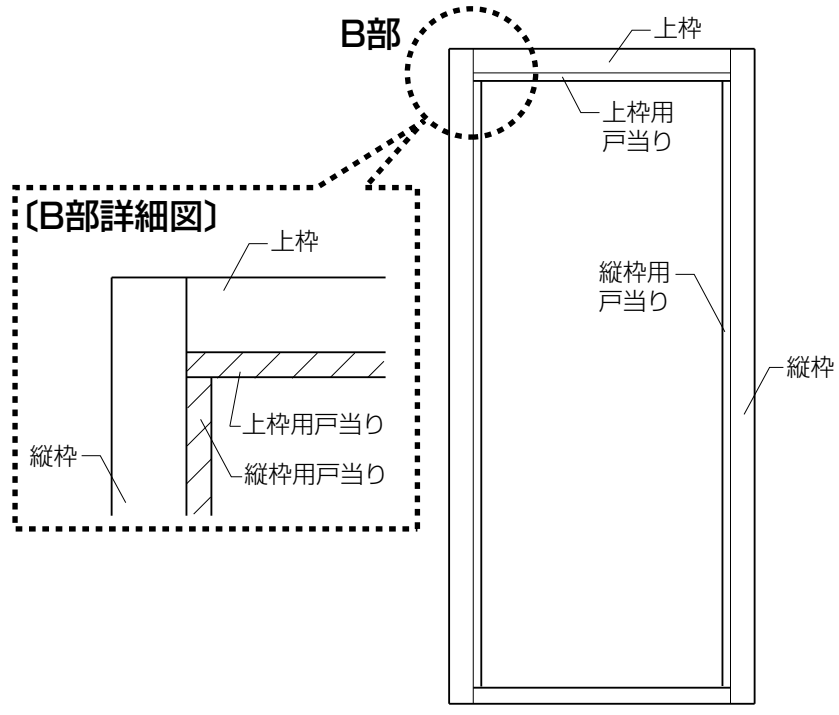


3 戸当りの取付け

①現場で戸当りの寸法を合わせて切断してください。
②戸当りの足の外側（リブのある面）に接着剤（現場手配）をつけ、固定してください（塗布面は下図参照）。接着剤（現場手配）がはみ出した場合は必ずふきとってください。
※戸当りは、埋込沓ずりより先に取付けてください。
※上枠用→縦枠用の順に取付けてください。



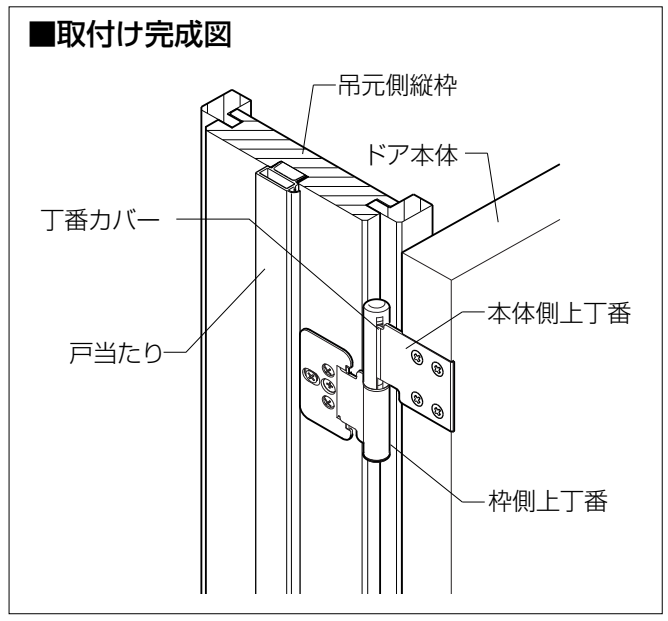
お願い
※ハンマーなどで直接たたき込まないでください。

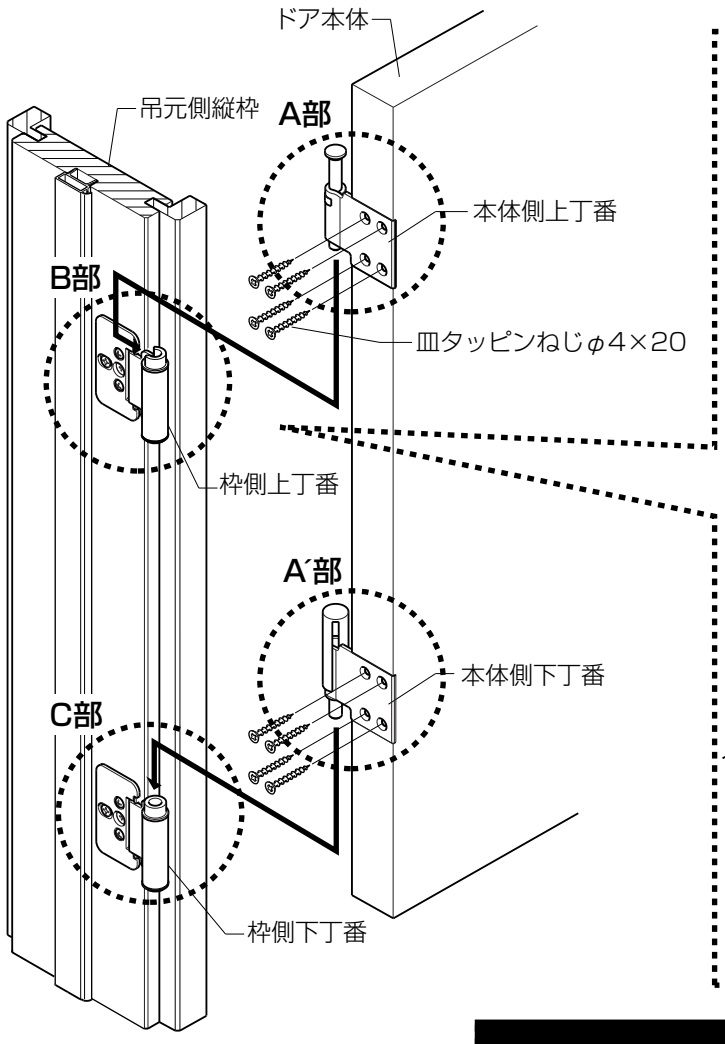


4 ドア本体の取付け

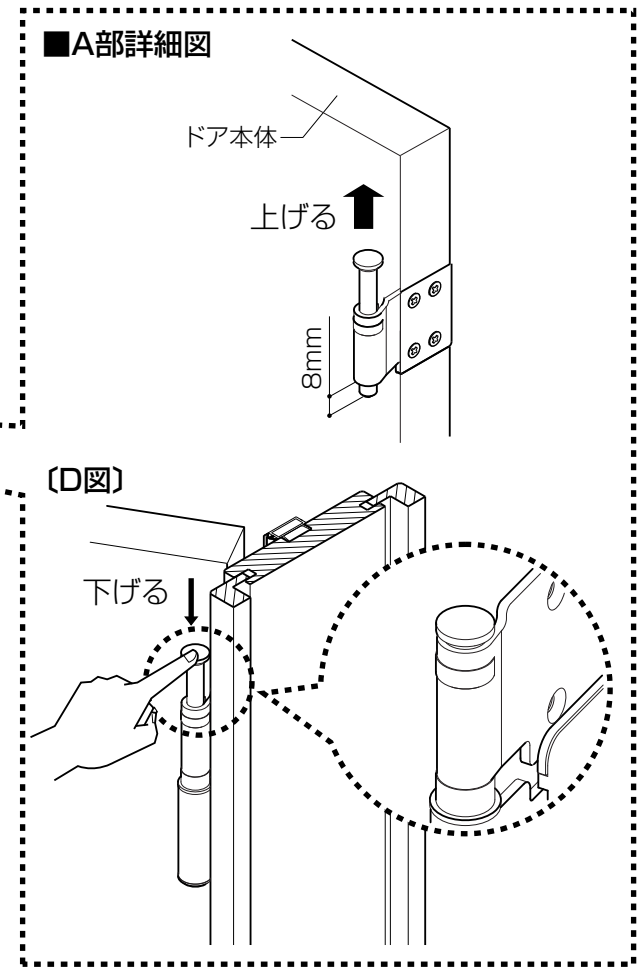
①ドア本体に、本体側丁番を皿タッピンねじφ4×20（枠側丁番にテープ止め）で取付けます。（A･A'部）
※ドア本体は左右兼用です。取付けの際は、ドア本体の上下を確認してください。
②下丁番カバーを上げます。
③上丁番カバーを外してください。
④本体側上丁番の軸を止まるまで上げます。（A部）
※軸は8mm程残した位置で止まります。
⑤本体側下丁番を枠側下丁番に差込みます。（C部）
※本体側下丁番の軸を垂直に差込んでください。
⑥本体側上丁番の軸を枠側上丁番のU字溝にはめ込み、ドア本体を吊込みます。
⑦本体側上丁番軸を止まるまで下げてください。（D図）
⑧上丁番カバーを取付けます。
※枠側上丁番のケースカバー溝にはめ込んでください。
⑨下丁番カバーを下げます。
※枠側下丁番のケースカバー溝にはめ込んでください。

■取付け完成図

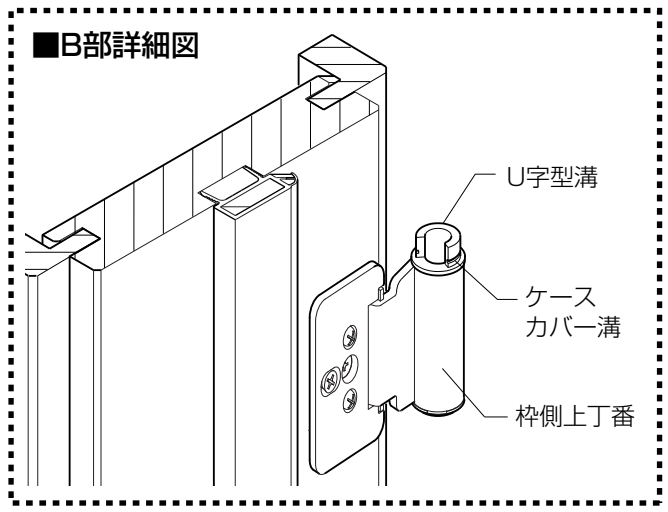




■A部詳細図



■B部詳細図



お願い
※本体を保管する際は、下記の状況にあたる場所には置かないでください。
・直射日光の当たる場所
・昼夜などで温度差の激しい場所
・湿気の多い場所
　本体のソリ・ねじれなどの原因になります。
※長期にわたる本体の立て置き保管はせずに、寝かせた状態での保管としてください。
　本体のソリ・ねじれなどの原因になります。

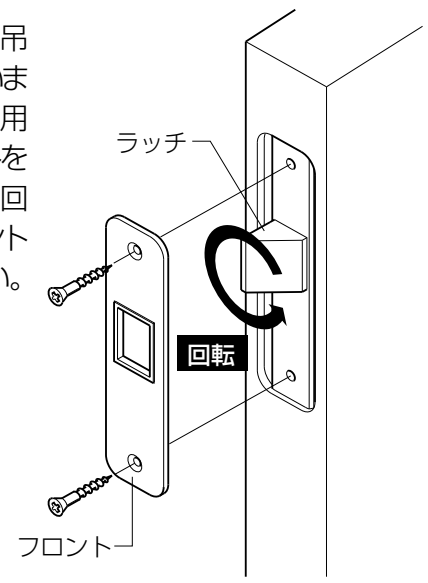
⚠ 注　意

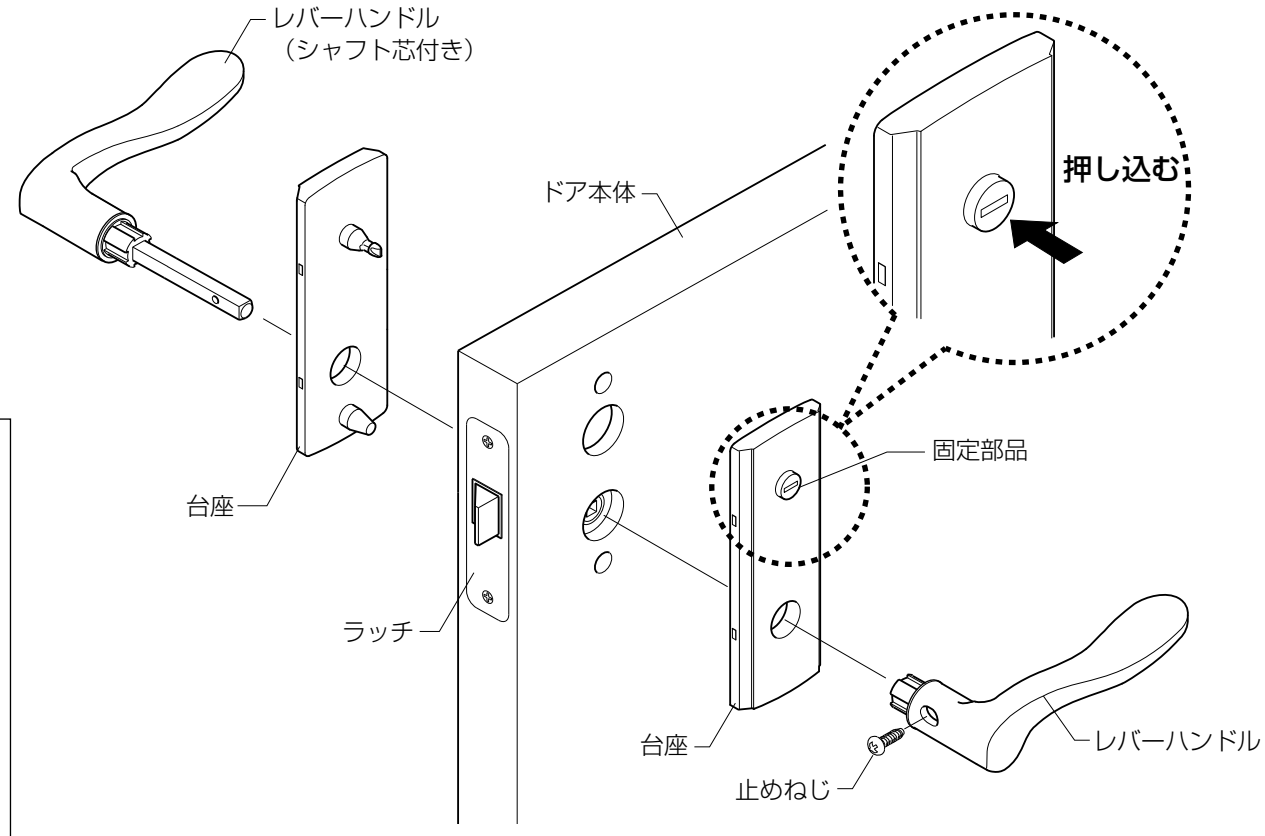
●本体を吊込んだ後、本体側上丁番の軸が下がっていることを確認してください。軸が下がっていないと、本体脱落の原因となります。
●丁番固定ねじの締忘れ・緩みなどは、本体脱落の原因になります。調整後本体・枠への固定ねじ及び丁番本体の止めねじが必ず締まっていることを確認してください。

5 把手の取付け

①台座の上部の固定部品の溝が横になっていることを確認してください。
（縦になっている場合は横向きにしてください。）
②本体の加工穴に合わせて、台座を合わせてください。
③固定部品を「カチッ」と音がするまで押込んでください。
④レバーハンドルを両側から差込み、レバーハンドルが軽く回転することを確認してから、ねじで固定してください。
（ハンドルねじ固定部は、長穴になっていますので、両側より押しつけて、ねじで固定してください。）

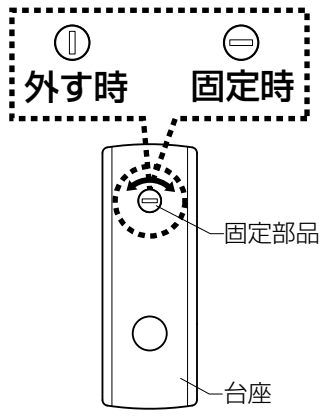
※箱錠のラッチは、右吊元の向きになっています。左吊元として使用する場合は、フロントを外し、ラッチを180°回転させた後、フロントを付け直してください。





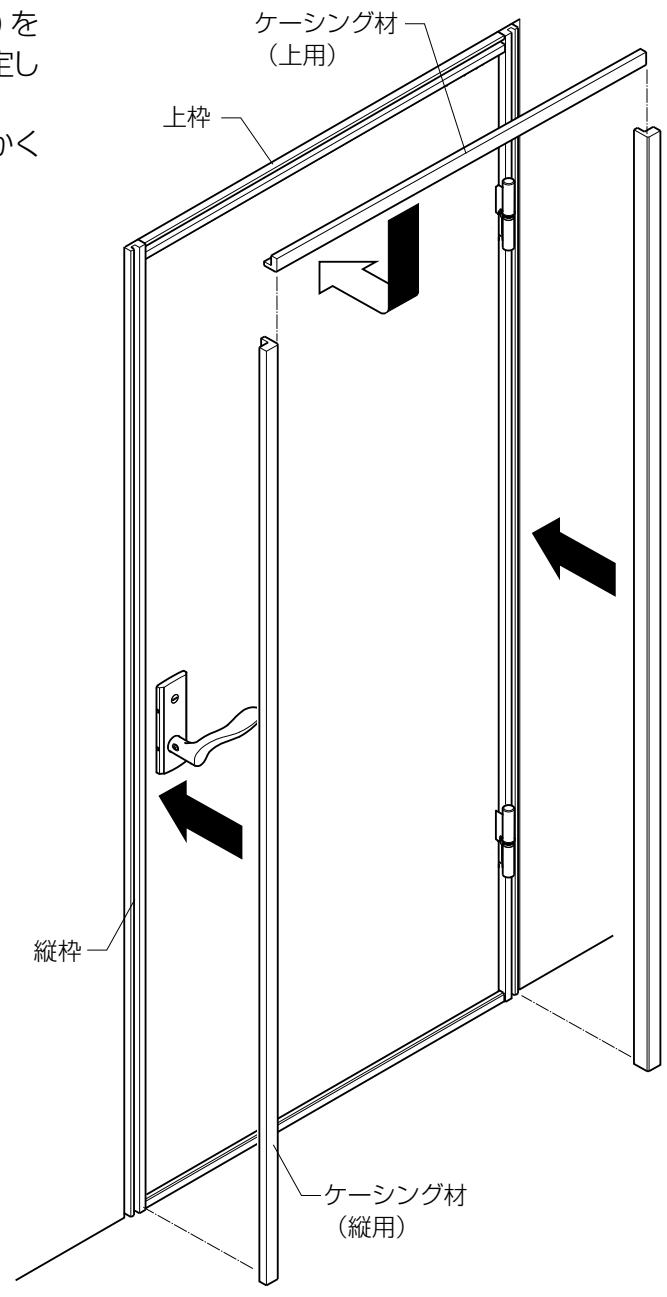
※把手の取外し方法

①レバーハンドルの固定ねじを外し、レバーハンドルを外します。
②固定部品をマイナスドライバー等で90°方向に回転させると台座が外せます。
③再度取り付ける時は、固定部品をマイナスドライバー等で元の状態にしてから取付けを行なってください。



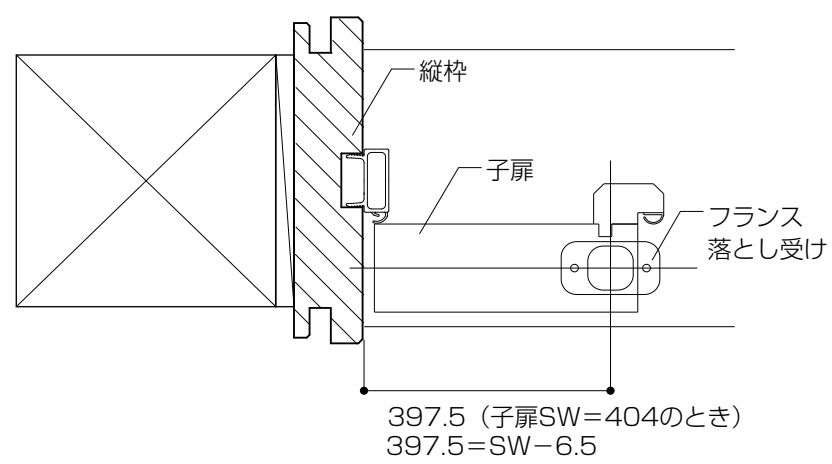
6 ケーシング材の取付け

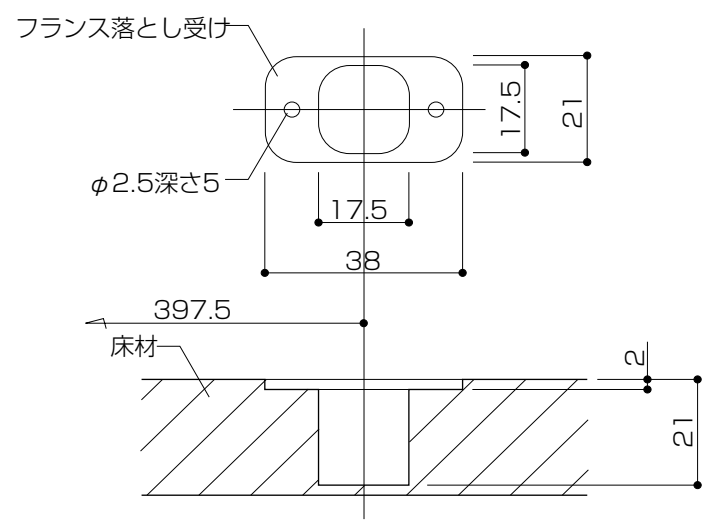
※壁材･床材を仕上げてからケーシング材を取付けてください。
①別梱のケーシング材を現場寸法に合わせて切断します。
（上ケーシングは枠に合わせてあらかじめカットしてあります。）
②枠のケーシング溝へケーシング材を差込みます。
③ケーシング溝とケーシング材裏面に接着剤（現場手配）を塗布し、ケーシング材を固定します。
※仮止めする場合は、専用かくし釘をご使用ください。



7 フランス落とし受けの取付け

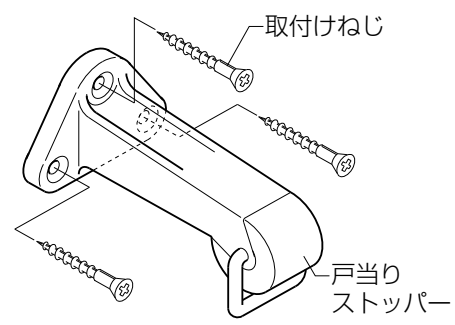
①下図に従い床面を加工します。
②フランス落とし受けを床面にはめ込み、木ねじで取付けます。
※専用の沓ずりを使用する場合は、フランス落とし受けは取付け済みです。

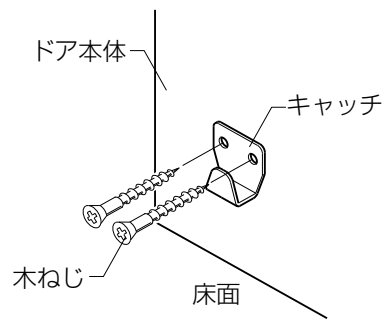




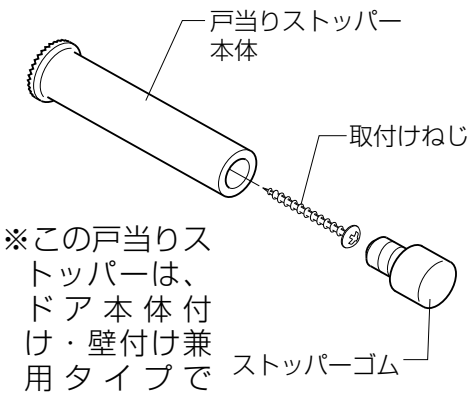
8 戸当りストッパーの取付け

■壁床付け用（別売）



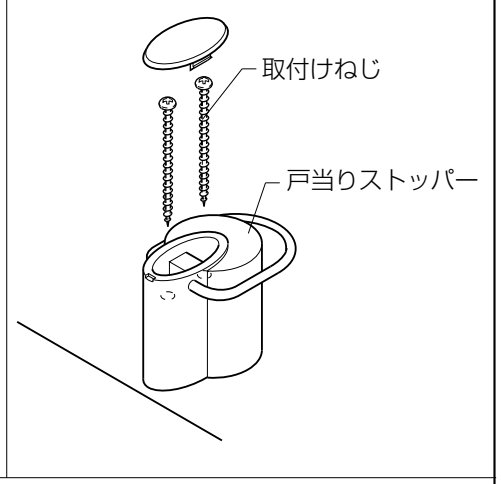


■本体取付け用（別売）

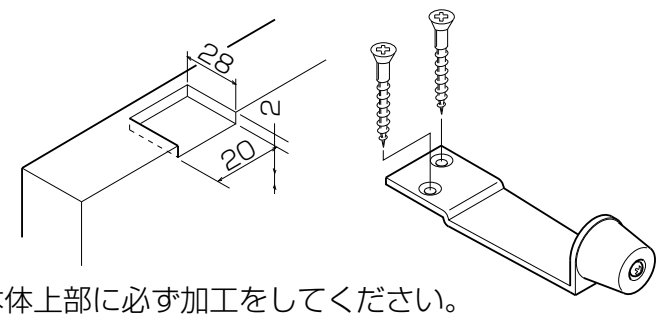


※この戸当りストッパーは、ドア本体付け・壁付け兼用タイプです。

■床付け用（別売）



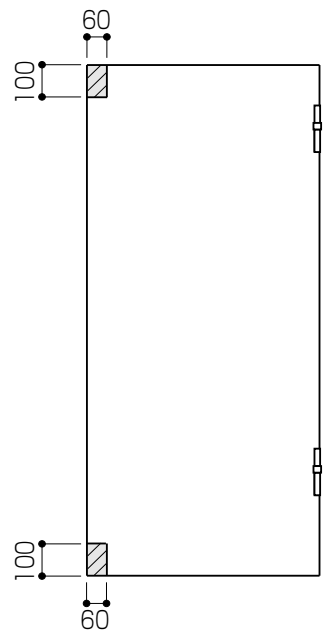
■ドア本体上部木口取付け用



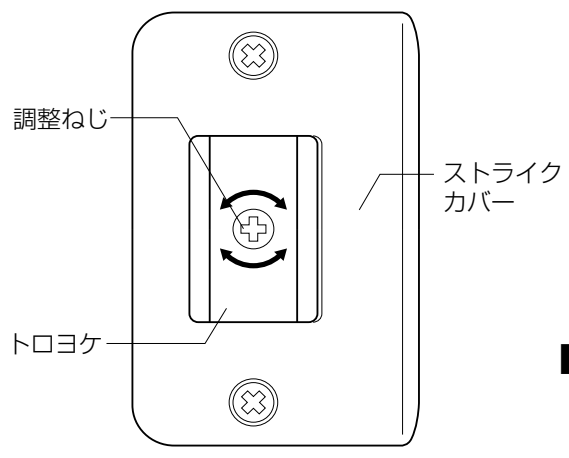
本体上部に必ず加工をしてください。

【本体取付け用戸当りストッパー及び、キャッチの取付け範囲】

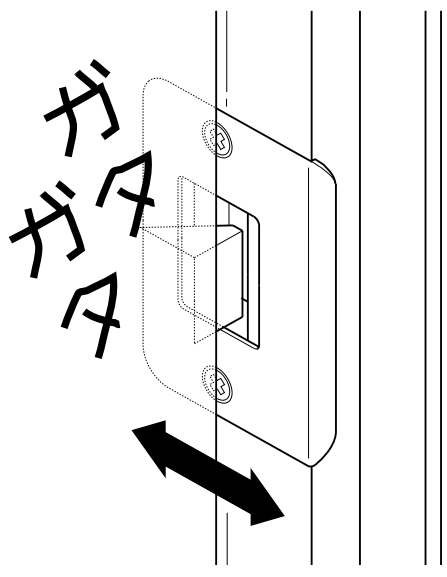
※下図の斜線範囲内に戸当りストッパー本体又は、キャッチを取付けてください。
※壁付け、床付け戸当りは、キャッチの位置に合わせ、壁又は床に取付けてください。



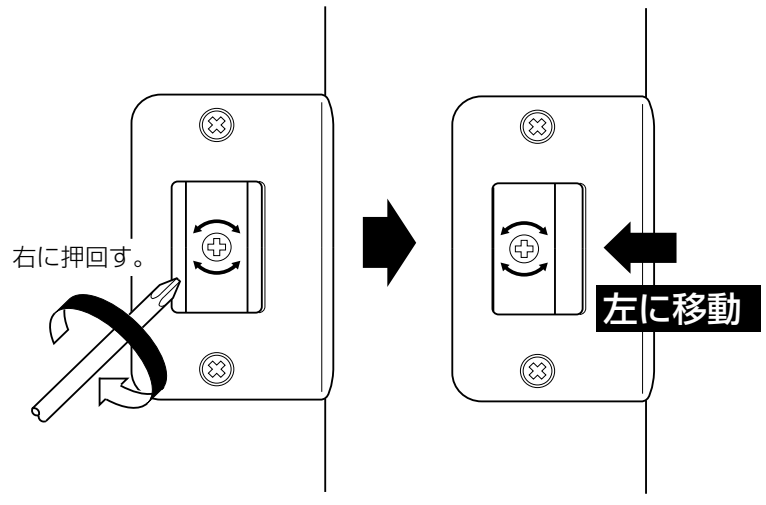
■建付け調整（ストライクによる調整）



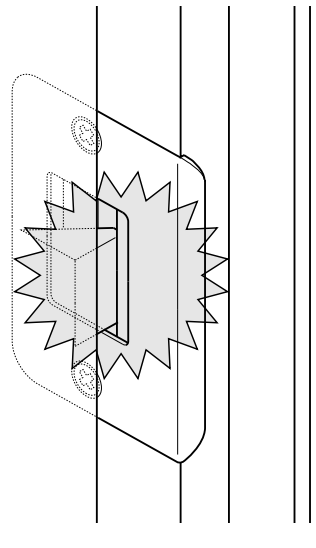
■ラッチがストライクの中でガタつく



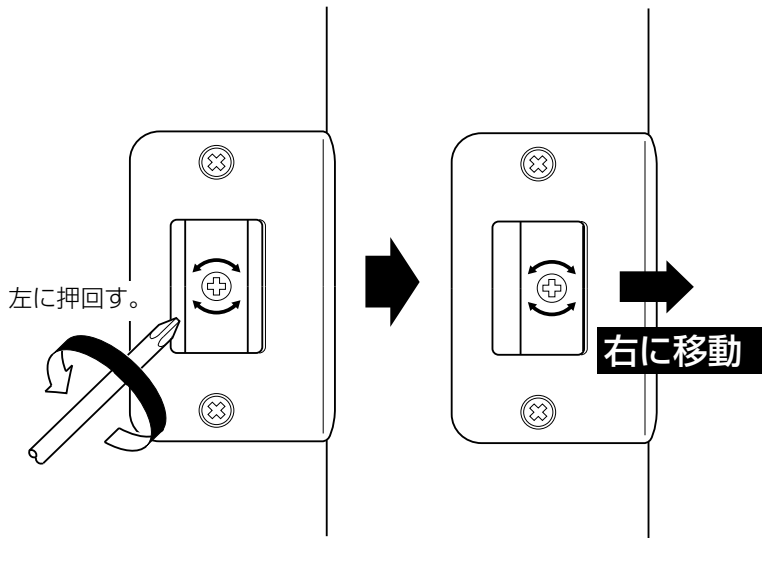
●調整ねじを押しながら、右に回してください。
無段階で移動します。



■ラッチがかからない

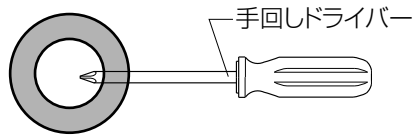


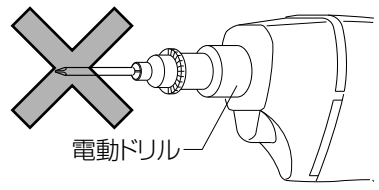
●調整ねじを押しながら、左に回してください。



■建付け調整（丁番による調整）

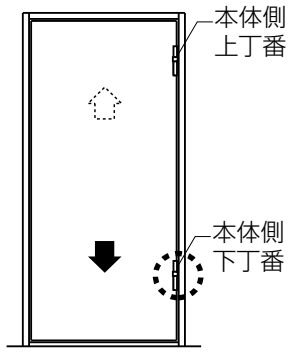
※建付け調整は必ず、手回しドライバーを使用してください。
※電動ドリルは、使用しないでください。ねじ頭が壊れるおそれがあります。





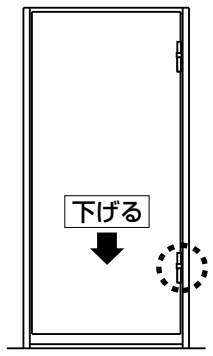
上下の調整

●本体側下丁番で調整します。
●調整幅は、
上(3mm)、
下(3mm)です。



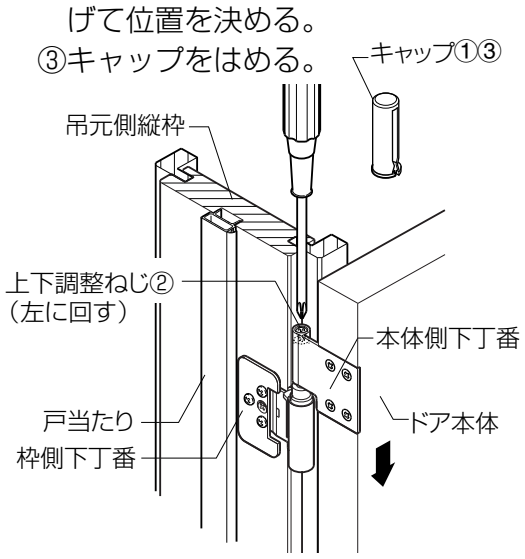
不具合例

1.ドアの上部が枠に当たる。



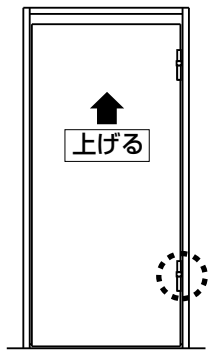
調整方法

①本体側下丁番のキャップを外す。
②上下調整ねじを左に回しドアを下げて位置を決める。
③キャップをはめる。



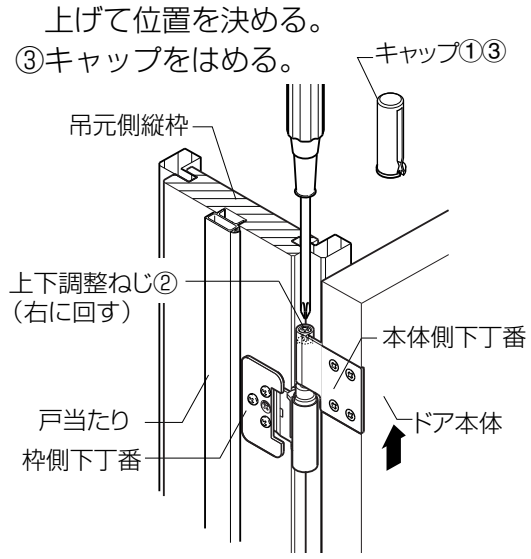
不具合例

2.ドアの下部が枠に当たる。



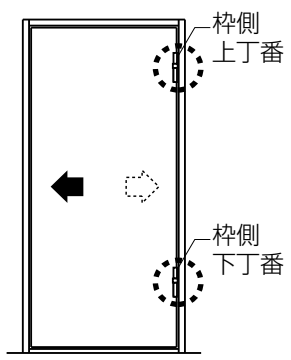
調整方法

①本体側下丁番のキャップを外す。
②上下調整ねじを右に回しドアを上げて位置を決める。
③キャップをはめる。



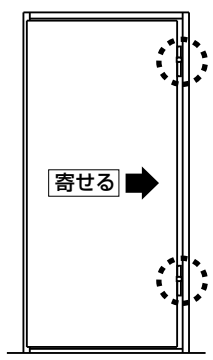
左右の調整

●枠側上丁番及び枠側下丁番の両方で調整します。
●調整幅は、吊元側に1.5mm、開き側に2.5mmです。



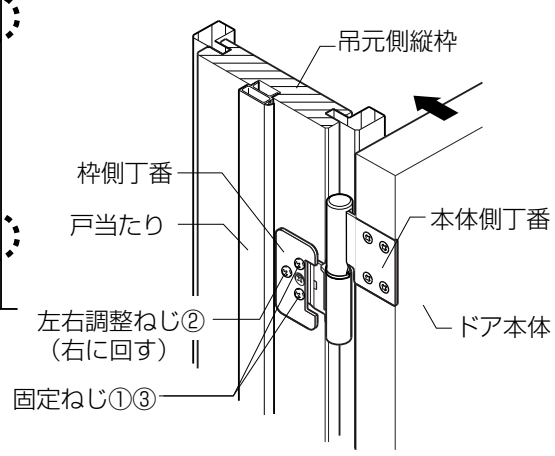
不具合例

1.ドアの開き側が枠に当たる。



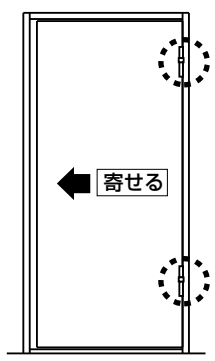
調整方法

①固定ねじを緩める。
②左右調整ねじを右に回してドアを吊元側に移動し位置を決める。
③固定ねじを締める。



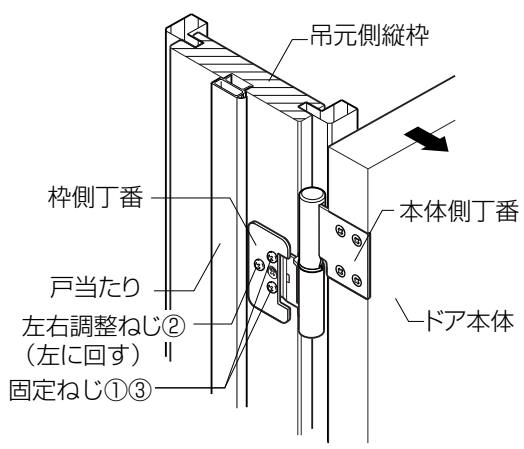
不具合例

2.ドアの開き側のすき間が大きすぎる。



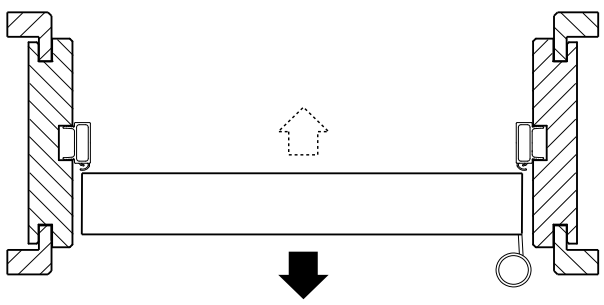
調整方法

①固定ねじを緩める。
②左右調整ねじを左に回してドアを開き側に移動し位置を決める。
③固定ねじを締める。



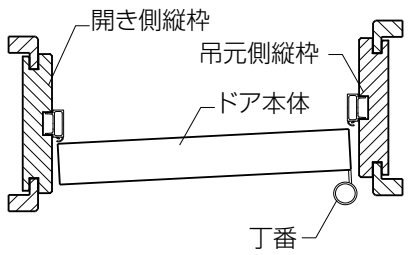
前後の調整

●枠側上丁番及び枠側下丁番の両方で調整します。
●調整幅は、
前（2mm）、
後（2mm）です。



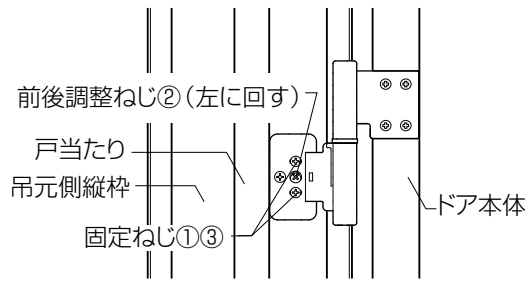
不具合例

1.開き側の枠が前に出ている。



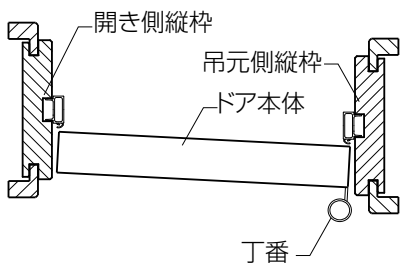
調整方法

①固定ねじを緩める。
②前後調整ねじを左に回してドアを前に移動させる。
③固定ねじを締める。



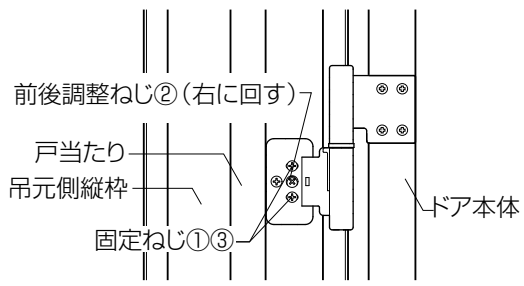
不具合例

2.吊元側の枠が前に出ている。

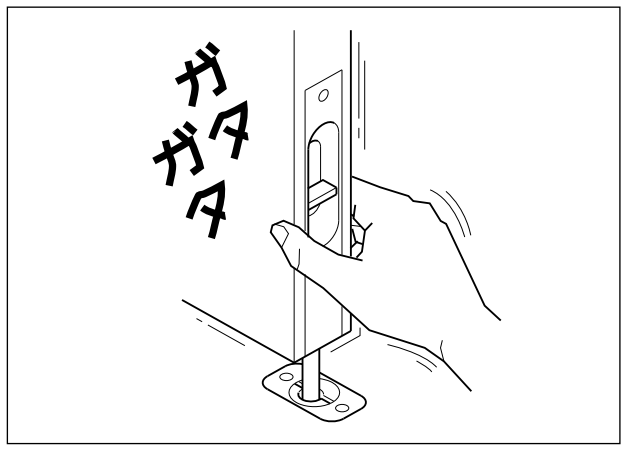


調整方法

①固定ねじを緩める。
②前後調整ねじを右に回してドアを後に移動させる。
③固定ねじを締める。

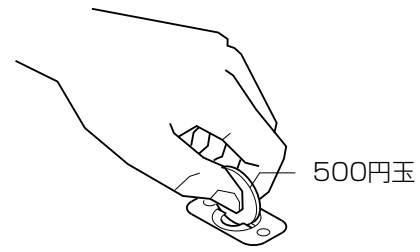


■子扉のガタツキ調整（フランス落とし受けによる調整）

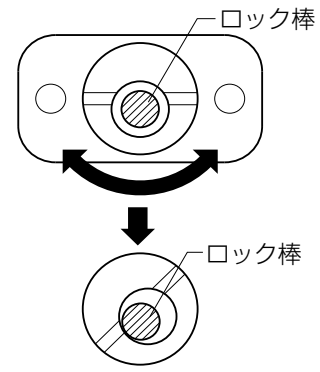


1 子扉がガタつく。

①コイン等で穴部分を回転させ、ロック棒をフランス落とし受けの内側に当てるようにしてください。



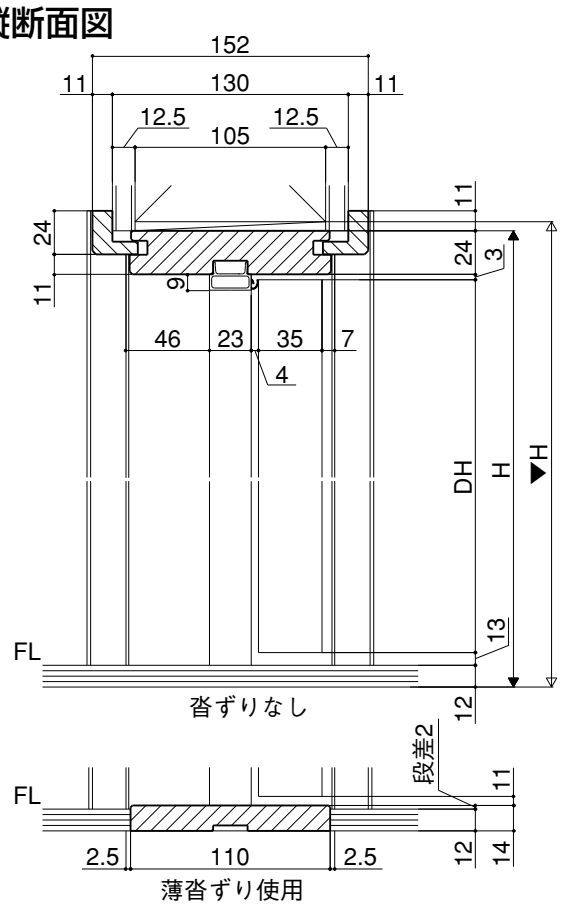
【フランス落とし受け】



■納まり図

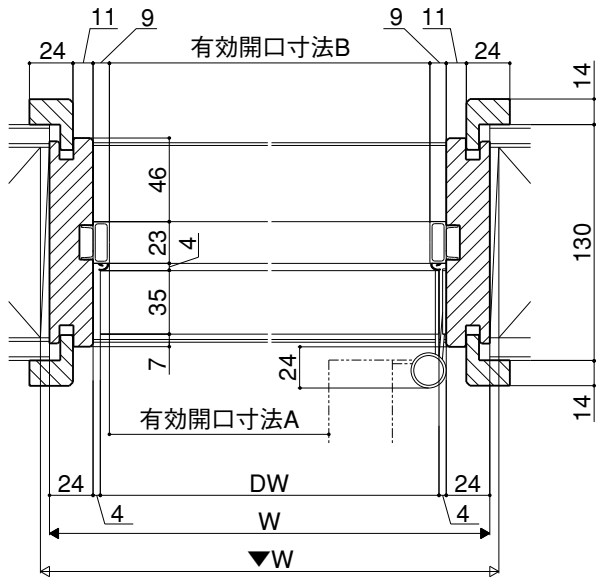
●標準／トイレドアユニット ケーシング付

縦断面図



※枠の見込み寸法が変わっても、沓ずりの位置は縦枠の開き側より共通の位置となります。

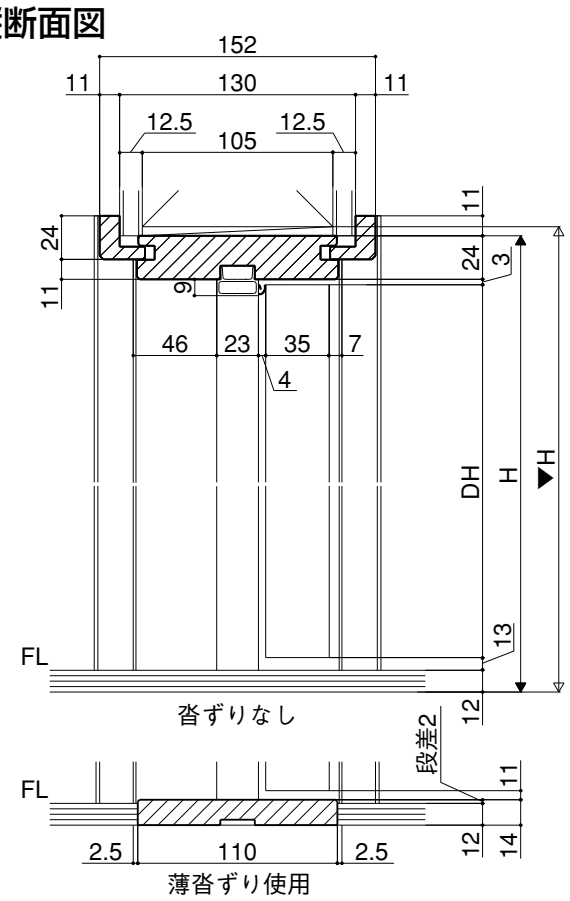
横断面図



	W呼称（枠外寸法）	A寸法	B寸法
標準ドア	W06（734）	611	668
	W065（754）	631	688
	W07（784）	661	718
	W08（824）	701	758
	W09（873）	750	807
トイレドア	W06（648）	525	582
	W08（824）	701	758
	W09（873）	750	807

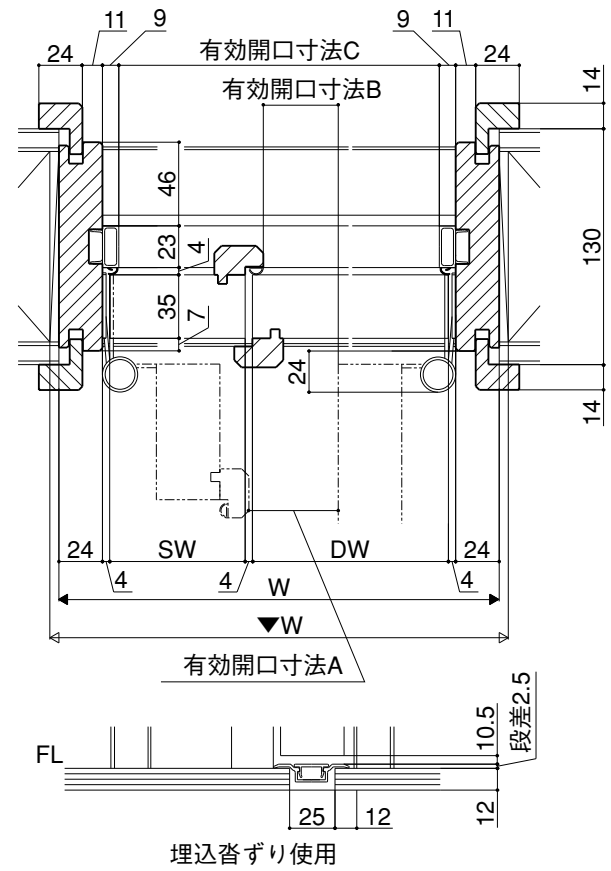
●親子ドアユニット ケーシング付

縦断面図



※枠の見込み寸法が変わっても、沓ずりの位置は縦枠の開き側より共通の位置となります。

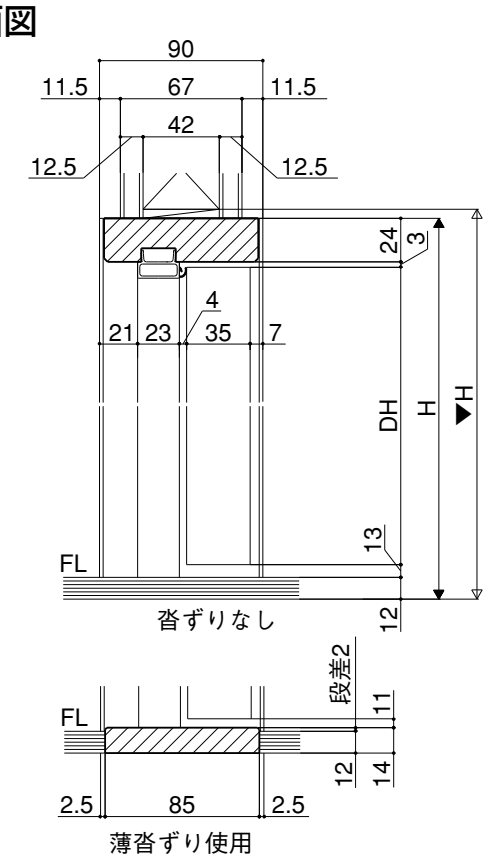
横断面図



W呼称（枠外寸法）	A寸法	B寸法	C寸法
W12（1192）	996	662	1126

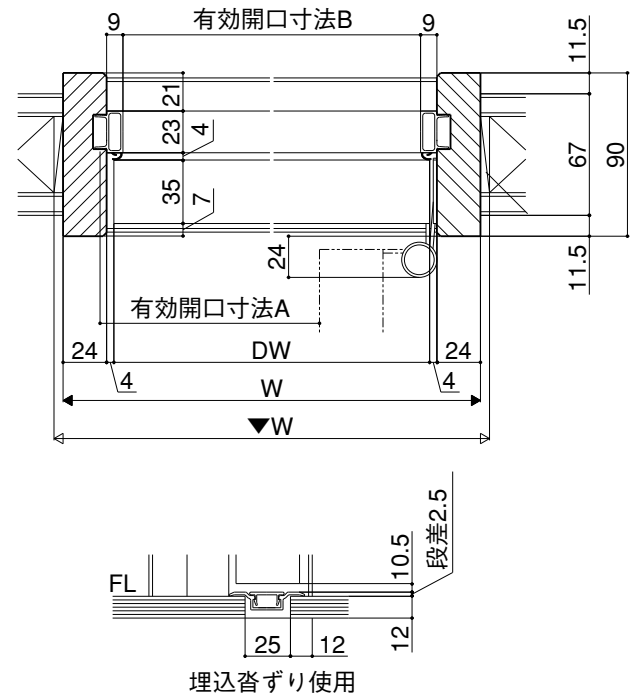
●標準/トイレドアユニット ノンケーシング

縦断面図



※枠の見込み寸法が変わっても、沓ずりの位置は縦枠の開き側より共通の位置となります。

横断面図



W呼称（枠外寸法）	A寸法	B寸法
トイレW06（648）	525	582
W065（754）	631	688
W07（784）	661	718
W08（824）	701	758
W09（873）	750	807

	W呼称	06／トイレドア	06／標準ドア	065	07	08	09	12／親子ドア
基本寸法（mm）	W	648	734	754	784	824	873	1192
	H呼称	20						
	H	2035						

	W呼称	06／トイレドア	065	07	08	09
基本寸法（mm）	W	648	754	784	824	873
	H呼称	20				
	H	2035				